

「第32回左京区民ふれあいウォーキング」に参加して

岩倉南班 西川昌之

雲ひとつない快晴で最高気温21.7°Cの快適な気候の中、宝が池公園を会場としたウォーキングが開催されました。左京区民ふれあい事業実行委員会が主催し左京区役所共催のもと、京都工芸纖維大学謎解き研究部Xcapeが企画運営する中で、午前は筆者が午後からは米田会長が救護班医師として参加してきました。

ストーリーは、昨年宝が池公園観光をして左京を気に入った宇宙人たちが再度観光目的に来ましたが、乗っていた宇宙船が着陸の衝撃で分解し、公園内にバラバラに散らばった部品を参加者がウォーキングコース内の9つのポイントで謎解きをして手がかりをゲットし宇宙船の設計図を完成させ、宇宙船を組み立てるというイベントでした。

各班20名弱で引率役を前後にはさんで時間差で出発し5班が約2時間かけてのウォーキングでした。

京都府看護協会からの2名と救護テントの中で待機しておりましたが、AEDを使用することもなく無事に終えました。

スタッフ全員が宇宙人としてアンテナを頭につけました。地図の左下は百万遍のある養正学区の「まんじろう」で右下は南禅寺境内の最勝院からの「きりたんぽこぼこ」という左京区の28学区宇宙人の中の2名です。

「左京区の28学区宇宙人」は、ふれあいウォーキングやふれあいまつり等、年間を通じて様々な事業に協力している、主に左京区に通勤通学する若者で構成される「ワッショイ！さきょフレ」が中心となり令和6年度に作成されました。また区役所職員・体育振興会連合会・保険協議会連合会・交通安全連合会・女性連絡協議会・社会福祉協議会・ボイイスカウト北星地区協議会・すこやかクラブ京都等左京区の各団体からもボランティア参加がありました。



